



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第3号
平成30年6月20日
校長 松丸 晴美

「時は金なり

My After-School Plan を作ろう」

全力で走り、全力で演技し、全力で応援した運動会。多くの生徒が、頑張った自分や心をひとつにして競技に取り組んだクラスメートの姿に満足感を抱き、充実感を感じた学校行事になったことが感想から読み取れました。当日は、1,400人を超えるご来賓、保護者・地域の方、卒業生が来校し、生徒の頑張っている姿に盛大な声援・応援をいただき、誠に有り難うございました。閉会式の講評で「クラスで協力し、全力で取り組んだ気持ち・態度をこれからの学校生活にも活かして下さい」と締めくくりました。

さて、約1ヶ月後の今、クラスで協力して良い学習環境づくりができていますでしょうか？また、1週間後に迫った期末考査に向けて、全力で家庭学習に取り組んでいるでしょうか？

5月に、家庭学習についてのアンケートを行ったところ下記のような結果でした。

<平日の家庭学習時間(塾なども含む)>

	1年生	2年生	3年生
ほとんどしない	8	25	17
おおよそ30分	28	30	33
1時間	34	26	24
1時間半以上	30	19	26

(数値は%)

思わず「見間違いでは？」と思ったほど、2・3年生で、平日に「おおよそ30分」もしくは「ほとんど家庭学習しない」生徒が多いことにショックを受けました。対して、1年生の学習時間が比較的多いのは、この調査の少し前に実施し

た学年独自の「家庭学習強化週間」の取組の成果だと思われます。

本校の7割の生徒は週3～4日熱心に部活動に取り組んで帰宅しますが、その後、就寝までの時間をどのように使っているのでしょうか？

今どきの中学生にとって、小学生の時に推奨されていた「学年プラス10分(中学1年生なら80分)」の家庭学習時間を生み出すことはそれほど大変なことなのでしょうか？

本校の生徒や教職員の会話に耳をすましてみると、スマホのゲームやLINEなどのSNSに費やす時間は、学習の時間をはるかに上回っている印象があります。未だに「ガラ携」を愛用している私でも、受信したメールへの返信には結構な時間がかかっています。内容や言い回しを考えたり、一度の返信では終わらず、複数回のやり取りがあるからです。気が付けばあっという間に時間が過ぎていきます。メールの送受信だけでもかなりの時間を費やすのですから、ゲームやLINEなどを行えば瞬く間に就寝時刻がやってくるでしょう。「時間を決めて使う」にはかなりの強い意志がなければ不可能なのではないのでしょうか？それほど、スマホの機能は多岐にわたり、依存を引き起こすほど魅力にあふれているでしょう。

昨年度、受験を目の前にした3年生に「どんな工夫をして学習時間を生み出しているのか」問うたところ、最も多かったのは、「スマホは手元におかず保護者に預ける」という答えでした。

誰もがわかっていることですが、中学生の本分は「学習すること」です。各ご家庭のSNSルールの確認と並行して、帰宅後の限られた時間をどのように有効活用するか、お子様の実態を把握しながら、このアンケート結果を活用して話し合ってみるのも一計と思います。

「 運動会を振り返って 」

保健体育科 近藤美咲

今年度は天候に恵まれ、練習からほぼ予定通りに進みました。当日も、適度な気温の中、運動会を終えることができました。今年度は、保健体育科の教員が2名替わり、指導の面でもさらに力が入った運動会になりました。集合・整列といった基本的な集団行動に力を入れ、日頃の授業から常に意識しました。行動を素早くし無駄な時間をなくすこと、常に隣の人と列を揃えること、自分が人に動きを合わせることなどをたくさん練習しました。退屈だ、厳しすぎる、と感じた生徒ももしかしたらいたかもしれません。しかし、基本的な集団行動の質を高めることで、それがマ스ゲームに繋がり、またその後の学校生活でも集合や整列がきちんとできるようになりました。



運動会当日は、昨年よりもレベルアップしたマ스ゲームをご覧いただくことができましたと思います。各学年200人前後の人数が動きを揃えるマ스ゲーム、全校生徒636人で動きを揃える整列や体操は、その年の運動会の出来映えを決める指標になります。そこに生徒一人一人が同じ思いをもち、力を注いでくれたことがなよりの成功だったと感じています。その後の保体の授業でも、生徒たちは、集合・整列などの行動を真剣に元気いっぱい続けてくれているので、とても嬉しいです。

運動会練習の各クラスの様子を見て、体育委員だけでなく前向きな声かけをしてくれる人が多いと感じました。運動が得意な人も苦手な人も、自分にできる最大限の努力をしようという姿勢がみられ、「協力する」「団結する」という場面をたくさん見ることができました。生徒が必死に取り組む姿からは、いつも感動をもらいます。

運動会を通して、「人と動きを合わせること」＝「人のことを考えること」を学び、それを今後の学校生活の様々な場面に活かしていけると、運動会を精一杯頑張った意味があると思います。運動会での達成感や感動を、生徒それぞれがまた次の場面に繋げてくれることを期待します。

当日、応援や見学に来てくださった保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。生徒にも、たくさんの感動をありがとうとお礼を言いたいです。



「 着付け体験 」

家庭科 阿部可奈子

外部講師を招いての着付け体験が6月7日（木）、8日（金）に2年生全クラスを対象に実施されました。

講師の方が説明をしながら、いとも簡単にご自分で着ていく姿を、どのクラスでも生徒は真剣なまなざしで見っていました。生徒たちは、実際に浴衣を手に取り着始めると、なかなかうまくできず、襟元はどうしたらきれいに合うのか、腰紐をどこで結べ



ばよいのか、慣れない浴衣に戸惑っていたようです。おはしよりの処理などがあるので、女子の方がどうしても時間を必要とするのですが、男子は辛抱強く待っていてくれ、全員で写真を撮ることができました。最後にたたみ方も習うことで、浴衣の構成が洋服とは異なることも、実感できたようです。自分で着付けができるようになるこ

とで、「浴衣を着てみよう」と思う機会が増えることを願います。これから行われる夏祭りでは着てください。

なお昨年度までは、浴衣は二人に一着で、交代で着付けを行っていましたが、今年度は生徒一人一人に一着ずつ浴衣が使えるようにと、保護者の方や近隣の方に、ご寄付を願いました。おかげさまでたくさんの浴衣が集まりました。皆様のご協力に感謝いたします。



「 体力の向上について 」

保健体育科 三輪 辰也

6月5日(火)に体力テストを実施しました。生徒はスムーズに行動し、予定時刻より早く測定を終了することができました。

本校では、平成30年度学校経営の基本となる7本の柱(グランドデザイン)のうちの一つ、**E:心身の健康と体力の増進**において、「投力と持久力の向上」があげられています。それを受け、保健体育科では本年度の重点を「持久力の向上」として体力の向上を図っています。

持久力は、長い時間体を動かすための体力で、全身持久力と筋持久力に分けることができます。陸上競技の中・長距離走、遠泳に向けての水泳、ゴール型の球技を通して、全身持久力(肺・心臓・血液など)の呼吸・循環機能を高め、柔道、ネット型の球技、ダンスにおいて、筋持久力(筋肉)を高めていきます。現在1年生の授業では、持久走を行い、全身持久力を高める取り組みを行っています。また、12月1日(土)に行われる、区中P連主催の区駅伝大会においても陸上部とともにチームを編成して、上位入賞を目指せるよう指導していきたいと考えています。



部活動表彰の記録

卓球部

第57回東京都中学校(区部)春季卓球大会(6/9)

女子団体 第3位

卓球部の皆さん、7月30,31日の夏の都大会、関東大会、全国大会に向け、がんばってください!

陸上部

第69回東京都中学校地域別陸上競技大会(6/9,10)

男子西部1年 1500m 第6位 記録 4分51秒32 中村悠人

男子西部2,3年 1500m 第7位 記録4分25秒04 道地涼介

男子西部3年 100m 第2位 記録11秒42 秋山 陸

女子西部1年 100m 第6位 記録14秒31 宮川琴音

女子西部2,3年 800m 第3位 記録2分26秒32 窪田ころろ

女子西部低学年 4×100m 第3位 記録55秒34

三浦リオ、上田彩月、中村愛花、宮川琴音

陸上部の皆さん、夏の通信、総体もがんばってください!